

# 情報共有システム(ASP)の利用について

## 1. 情報共有システム(ASP)の利用について

全国的に高速通信環境の整備が進展しており、国土交通省所管の土木工事においては受発注者間の情報共有システム(ASP)の活用を積極的に図っている状況です。

このことを踏まえ、岩手県県土整備部では発注者と受注者の情報共有の円滑化のため、以下により情報共有システム(ASP)を利用することを原則とします。

※(ASP:Application Service Provider)

## 2. 利用可能な情報共有システム

国土交通省から令和4年3月に発出された「工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件(Rev.5.4)【要件編】」の要件を満たす以下のシステム

(下表は、令和5年12月26日時点のものです。システム提供企業名と提供システムについては、システム提供企業の都合により、変更になることがあります。)

番号	システム提供企業名	提供システム名
1	株式会社アイサス	information bridge
2	株式会社建設システム	工事情報共有システム RevSIGN
3	川田テクノシステム株式会社	basepage
4	株式会社建設総合サービス	電納ASPer(デンノウエスパー)
5	株式会社現場サポート	現場クラウド One
6	株式会社トインクス	工事監理官
7	日本電気株式会社	工事監理官
8	株式会社ビーイング	『BeingCollaboration』『BeingCollaboration PM』
9	株式会社コルク	KOLG+(コルクプラス)

## 3. 適用

県土整備部所管建設工事(建築工事を除く)

## 4. 情報共有システム利用者

- (1) 発注者(岩手県)における利用者  
工事を担当する監督職員等。
- (2) 受注者(県営建設工事受注者)における利用者  
工事を担当する技術者及び現場代理人等。

## 5. 利用出来る機能

- (1) 工事基本状況管理機能  
契約情報等、工事基本情報を入力し、確認可能とする。
- (2) 掲示板機能  
工事に関する簡易的な質問・回答等の情報共有を行う。
- (3) スケジュール管理機能  
工事の立会や臨場等の日程の調整に活用する。
- (4) 発議書類作成機能  
書面による受発注者協議等をシステム上で行う。
- (5) 書類管理機能  
工事書類をフォルダ分けして、体系的に管理する。

(6) 工事書類等入出力・保管支援機能

システム上に保管したデータを保管管理するために外部保存する。

6. 工事発注時の情報共有システムに係る明示方法

特記仕様書に情報共有システム（ASP）の利用について明記する。契約後、工事打合簿により事前協議チェックシート〔情報共有システム（ASP）〕を用いて受発注者間で協議を行い、工事毎に情報共有システム（ASP）の可否を決定する。

7. 情報共有システムにおいて活用する様式について

「工事打合簿」、「材料確認願」、「段階確認書」、「工事履行報告書」、「確認・立会依頼書」については原則岩手県県土整備部共通仕様書内の様式とする。やむを得ない場合は、協議により別様式（国土交通省の様式に準拠したもの等）による対応を可能とする。

8. 利用時のメリット

- ・インターネット経由でいつでも閲覧可能
- ・システムに入力することで、発注者と受注者のスケジュール閲覧共有が可能
- ・書類の保存空間のスリム化
- ・過去の書類をデータ検索可能
- ・打合せのための移動時間の減少
- ・最終成果品として書類をまとめる作業の簡略化
- ・紙資料の作成費用の削減